

# Yanagita Kunio in the 21<sup>st</sup> Century

国際フォーラム

21世紀における

# 柳田国男



柳田国男は世界でどう読まれているのか？  
柳田国男没後50年の節目にあたる本年、  
国内外から識者を招き、フォーラムを開催します。

日時・2012年 **8|23(木)** 14:00~17:30 | **24(金)** 10:30~17:30

場所・あえりあ遠野 交流ホール (岩手県遠野市新町1-10)

主催 遠野市・遠野文化研究センター  
後援 財団法人遠野国際交流協会

**入場無料**

**8/23(木)** 14:00 はじめに—提言「柳田国男研究の新たなステージに向けて」  
赤坂 憲雄 (遠野文化研究センター所長・学習院大学教授)  
15:00 セッションI「グローバルな視点から見た柳田国男」  
ロナルド・A・モース (『遠野物語』英訳者)  
スコット・シュネル (アイオワ大学准教授)  
福田 アジオ (国立歴史民俗博物館名誉教授・柳田国男記念伊那民俗学研究所所長)

**8/24(金)** 10:30 セッションII「いま、『遠野物語』とは何か」  
デヴィッド・ヘンリー (アラスカ大学フェアバンクス校准教授)  
三浦 佑之 (遠野文化研究センター顧問・立正大学教授)  
13:30 セッションIII「可能性としての文化的伝統」  
クリストファー・ロビンズ (井上ひさし『新釈 遠野物語』英訳者)  
メレック・オータバシ (サイモン・フレーザー大学准教授)  
小田 富英 (『柳田国男全集』編集委員、作新学院大学特任教授)

16:15 総括セッション

\*フォーラムは日本語で行われます。  
\*当日都合によりプログラムが変更される場合があります。

『遠野物語』序文の舞台・天神の森

**【参加申込】 遠野文化研究センター 調査研究課 Tono Culture Research Center**

●電話・FAX・メールで申込ください。

Tel: 0198-60-2800 Fax: 0198-60-1055 E-mail: [tono100@city.tono.iwate.jp](mailto:tono100@city.tono.iwate.jp)

〒028-0523 岩手県遠野市中央通り1番11号



# Yanagita Kunio in the 21<sup>st</sup> Century

国際フォーラム

## 21世紀における柳田国男

出演者プロフィール(出演順)

**赤坂 憲雄**  
Akasaka Norio

東京大学文学部卒業。東北芸術工科大学・同東北文化研究センター所長を経て、遠野文化研究センター所長、学習院大学教授、福島県立博物館館長。東北の文化や歴史を掘り起こす「東北学」を提唱。「柳田国男の読み方—もうひとつの民俗学は可能か」、「遠野／物語考」、「柳田国男の発生」3部作など柳田に関連した著作も多数。「岡本太郎の見た日本」にて芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。

**ロナルド・A・モース**  
Ronald A. Morse

プリンストン大学で博士号取得。国防総省戦略貿易チーム主任研究員、アメリカ議会図書館館長特別補佐官、カリフォルニア大学ロサンゼルス校教授、ネバダ州立大学教授などを歴任。1975年に『遠野物語』を英訳し、2009年に改訂出版。主な著書に『近代化への挑戦』などがある。

**スコット・シュネル**  
Scott Schnell

アイオワ大学准教授。人類学博士。国立民族学博物館の研究員として日本に滞在経験があり、研究領域は、自然環境と文化、山岳信仰など。日本アルプス北部周辺や東北地方などでフィールドワークを行う。現在は伝統的狩猟文化とマタギを調査している。

**福田 アジオ**  
Fukuta Ajio

東京教育大学(現筑波大学)大学院文学研究科修士課程修了。国立歴史民俗博物館教授、新潟大学教授、神奈川大学教授を経て、国立歴史民俗博物館名誉教授、柳田国男記念伊那民俗学研究所所長。主な著書に『日本民俗学方法序説』、『柳田国男の民俗学』、『日本の民俗学—「野」の学問の200年』などがある。

**デヴィッド・ヘンリー**  
David Henry

2009年ミシガン大学で日本近代文学の分野で博士号取得。現在はアラスカ大学フェアバンクス校准教授。研究領域は、ナショナリズムと民話の接点、新聞小説や「円本」、児童文学に及び、近代児童文学の祖・巖谷小波(いわやさざなみ)についての著作もある。

**三浦 佑之**  
Miura Sukeyuki

成城大学大学院博士課程単位取得修了。古代文学・伝承文学専攻。成城大学、共立女子短期大学、千葉大学を経て、現在は立正大学文学部教授、遠野文化研究センター顧問。「村落伝承論—遠野物語から」で第5回上代文学会賞、「口語訳 古事記」で第1回角川財団学芸賞を受賞。共著『遠野物語へようこそ』など著書多数。

**クリストファー・ロビンズ**  
Christopher Robins

1999年インディアナ大学で日本の言語と文学の博士号取得。研究領域は、日本の民話と現代フィクション。ニューヨーク州立大学ニューバルツ校、セント・ローレンス大学などで講義を行う。魯迅に関する著書や滑稽本の翻訳と論評、井上ひさし「新釈 遠野物語」の翻訳と解説を手がける。

**メレック・オータバシ**  
Melek Ortabasi

ワシントン大学で比較文学博士号取得、カナダのサイモン・フレーザー大学准教授。明治の女性作家に関する著作がある。柳田国男についての著作「The Undiscovered Country(未知の国)」を近く出版予定。柳田国男の子どもや教育への関心に刺激され、児童文学とその翻訳の新たなプロジェクトを始動。

**小田 富英**  
Oda Tomihide

東京学芸大学教育学部卒業。東京都内の小学校教員を36年勤めながら柳田国男研究を続け、現在は、作新学院大学人間文化学部特任教授、『柳田国男全集』編集委員などを勤める。共著に『柳田国男事典』、論文に「『平地人』とはだれか—『柳田国男全集』年譜作成作業からの検証」などがある。